

平成 31 年度 事業報告

公益財団法人日本呼吸器財団

(概要)

平成 31 年度における当財団が実施した事業概要は下記の通りである。

呼吸器疾患の教育啓発を目的として「呼吸の日(5月9日)」、「肺の日(8月1日)」に日本呼吸器学会と共催した市民公開講座を全国 8 カ所で開催、また GOLD 日本委員会、日本呼吸器学会と共に「日本 COPD サミット—たばこと肺の健康 WEB セミナー」を開催し、「市民公開講座助成」は 200 万円の実績となった。

「患者団体助成」では、新たにキャスルマン病患者会、再発性多発軟骨炎患者会を助成対象に追加し、計 8 患者団体に 80 万円の助成をした。

3 年目を迎えた「研究助成」では 13 件の応募の中から 5 件の研究テーマに助成、助成金額は 1,000 万円となった。(研究助成採択テーマは当財団 HP に掲載) COVID-19 の影響で 9 月に延期となったが、本助成初年度の平成 29 年度受賞テーマの成果が日本呼吸器学会学術講演会で報告されることになった。

また 400 万円を計画した「呼吸不全に関する在宅ケア白書」作成の為の患者調査については調査協力依頼関連で 50 万円の実績に留まり、残りは次年度へ繰越しとなった。

事業運営費用は日本医学総会での市民公開講座開催費用 112 万円とその他の諸費用 598 万円を加えて 710 万円となった。

以上、事業費の合計は 2,040 万円となり、計画 2,421 万円に対して 381 万円の未消化、予算執行率は 84.3%となった。

(内容)

摘 要	金 額	備 考
1.市民公開講座助成	200 万円	「呼吸の日」、「肺の日」の市民講座 北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、 中国・四国、九州の 8 件 「日本 COPD サミット」の市民講座 東京の 1 件
2.患者団体助成	80 万円	日本呼吸器障害者情報センター、ポリオの会 東北白鳥会、J-LAM の会、北海道低肺の会 神奈川もみじ会、キャスルマン病患者会 再発性多発軟骨炎患者会の 8 件
3.研究助成	1,000 万円	グループ研究に対する助成を 5 件
4.患者調査	50 万円	呼吸不全に関する在宅呼吸ケア白書の患者調査費
5.事業運営費用	710 万円	日本医学総会の市民公開講座開催費用：112 万円 事業運営に関わる諸費用：598 万円
事業費合計	2,040 万円	